

令和 8 年度 陸修偕行社慰霊祭の斎行

令和 8 年 4 月 17 日、令和 8 年度陸修偕行社慰霊祭が、靖國神社において斎行されました。国家防衛のために尊い一命を捧げた陸・海軍将兵、さらには戦争において国のために亡くなられた学徒、女子挺身隊員などの英霊を慰霊・顕彰し安らかに神鎮まらんことを祈念するとともに、感謝の念を捧げることができました。

陸修偕行社慰霊祭は、偕行社が市ヶ谷台慰霊祭及び月例参拝を統一し、日清戦争終結の記念日に斎行することとなって 5 回目、陸修偕行社が発足してから 3 回目の慰霊祭でした。陸幕代表者、関係協力団体代表者、地方偕行会会長などをお迎えし、ご遺族、陸士・陸幼代表者、法人・個人賛助会員、家族会員、元自会員等約 140 名が参加しました。



慰霊祭に先立ち、市ヶ谷駐屯地慰霊碑地区において、陸修偕行社理事長 火箱芳文、ご遺族、市ヶ谷台慰霊会会員が、陸軍大将 阿南惟幾茶毘の碑、陸軍元帥 杉山元^{げん}及び陸軍大将 吉本貞一^{ていいち}自決の碑、全陸軍航空部隊の碑、陸軍少佐 晴氣誠^{はるけ}慰霊碑及び自衛隊殉職隊員の碑に対して、万感の思いを込め献花・拝礼を実施しました。



その後、慰霊祭参列者は靖國神社参集殿に集合、大塚海夫宮司のご挨拶をいただいた後、参集殿から拝殿に参進、開式の辞、元海自東京音楽隊・堀田和夫様及び同・佐々木太様のトランペット演奏による国歌斉唱の後、修祓^{しゅばつ}、献饌^{けんせん}、祝詞奏上^{のりと}、陸修偕行社・火箱理事長による祭文奏上、続いてトランペットによる軍歌・唱歌の献奏、鎮魂歌「海行かば」の斉唱で拝殿における儀式は終了しました。



この後、本殿に昇り、代表者による玉串奉奠^{ほうてん}に併せて参列者全員が拝礼、最後に、トランペットの「国の鎮め」の演奏により黙祷、英霊の御霊に哀悼の誠を捧げました。



拝殿及び本殿における慰霊祭斎行後、靖国会館の直会では、今一度トランペット演奏による国歌斉唱、火箱理事長・来賓代表 大塚海夫宮司のご挨拶、来賓紹介、祭電披露、森勉会長の献杯により会食・懇談、最後にトランペット演奏により「同期の桜」を全員で唱和し、名残り尽きない和気藹々の直会となりました。